

直方市立

# 直方東小学校

学校だより

3月号

文責 校長 波多野泰生

## ○心が変われば・・・

「1月は行く」「2月は逃げる」「3月は去る」と言われるように、3学期はあっという間に月日が過ぎ、気づいてみると令和2年度も残すところわずかとなりました。今年度は、誰もが経験したことのない、新型コロナウイルス感染拡大防止のための全国一斉休校から始まり、5月途中からの再開、夏期休業の短縮、さまざまな学校行事、PTA行事の縮小・中止、その都度、保護者の皆さま方にも多大なご負担・ご協力を頂きましたことを、改めて感謝し、お礼申し上げます。「ありがとうございました。」3月16日（火曜日）には第40回卒業証書授与式を行う予定にしております。感染拡大防止のために短縮での開催とはなりますが、卒業生及び卒業生の保護者の皆様にとって感動的な式となるよう、児童・教職員が力を合わせて準備に臨みます。また、次年度も信頼される学校づくりに向けて全職員で努力する所存ですので、引き続き保護者及び地域の皆さま方のご支援・ご協力をお願いいたします。

さて、今日は**心が変われば・・・**と言うことで少し書いてみます。

**心が変われば、態度が変わる。 態度が変われば、行動が変わる。**  
**行動が変われば、習慣が変わる。 習慣が変われば、人格が変わる。**  
**人格が変われば、運命が変わる。 運命が変われば、人生が変わる。**

この「心」とは「思考」と言い換えても良いでしょう。考えを変えれば、行動が変わるからです。逆に考えを変えなければ行動は変わるはずがないのです。**私たちはともすればうまくいかないことをすぐに他の人や環境のせいにしてしまいがちです。責任転嫁と言います。**そんな「思考」では「自分の甘さをなんとかしたい」などという行動を引き出すことはできません。よって、責任を人のせいばかりしている人の人生が良い方向に変わるはずがありません。人間は結局のところ、「心（＝思考）によって行動を決めている」のです。これは、すべての人間にあてはまることです。もちろん子どもたちも、私もです。しかし、多くの場合、この心（＝思考）を変えるというのはそう簡単なことではありません。例えば、「勉強」というものに対する考え方は千差万別です。「苦手」という人もいれば、「得意」という人もいますでしょう。**「せんとしょうがないから、やっている」という人もいれば、「楽しくて仕方ないからやっている」という人もいます**でしょう。結局のところ「勉強」そのものがどういうものなのかは、その人本人が決めることであって、「勉強」は「勉強」以外の何物でもなく、それ以上でもそれ以下でもないのです。また、人は2つの基準だけで行動を決定します。それは、「**快樂**」を求め、「**苦痛**」から逃れるというものです。ただ、何を「快樂」、「苦痛」と考えるかはその人によって違います。「**長距離**

【裏面につづく】

走」を「気持ちが良いから毎日走る」という人もいれば、「きついので絶対イヤ」という人もいるのです。「長距離走」そのものが良いものなのか、悪いものなのかは分からないのです。要はその人本人の考え方次第なのです。学校は、自分の良さを見つけ、自分を伸ばすところです。そして、社会の中で生きていくための基礎を身につけるところです。年間を通して「気持ちの良いあいさつを交わす」「運動や勉強を頑張る」等のあたりまえのことをあたりまえに行うことができるように子どもたちには話しをしてきました。良い習慣は意欲につながります。意欲がある子は頑張ります。頑張る子は学力や運動能力が高まります。本校の課題でもある自尊心も高まります。また、生活の基礎・基本としてのルールやマナーなどの社会性を身につけることは、子どもたちに「自律」をうながし、我慢する力や自分をコントロールする力を付けていくためには欠かせないことです。「しっかり相手を見て、時には立ち止まって、あいさつができる子どもたち」「規律やマナーをしっかりと守り、思いやりや助け合いができる子どもたち」「基礎的基本的な学力を身につけ、しっかり考えることのできる子どもたち」「最後まであきらめず、頑張り抜く子どもたち」をめざしてこれからも取り組んでいきます。この一年間で子どもたちは一段とたくましくなり、心身ともに成長しました。4月からはそれぞれ一つ上の学年に進級します。6年生は中学校へと進学します。それぞれ新しい学年・学校に向かってさらに飛躍していくものと信じています。